

6・10 国鉄集会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年5月17日

No 26

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

沖縄とフクシマの怒りが結合し



「死すべきは基地・原発だ!」
沖縄・国際通りを400人がデモ!

5・12~14沖縄闘争が大高揚!

●福島大3年生の感想

今回の沖縄闘争で感じたことは、米軍基地に対する沖縄の人たちの強い怒りでした。

終戦から70年近くたった現在も、沖縄には国内全米軍基地の75%が押し付けられたままです。その理由は「安全保障のため」とされていますが、これには疑問を感じずにはいられません。米兵による少女暴行事件や大学構内への米軍飛行機墜落事故など、沖縄の人びと安全が保障されているとはとても考えられないからです。ここでの「安全」とは一体誰のための、また何のための「安全」なのでしょう。基地を全て撤去してしまった方が、沖縄の人は安心して暮らせるはずだと強く思います。

また、沖縄の現状は福島のそれとよく似ているとも感じました。避難したくても住み続けるよう強いられ、被曝を強制される人もいれば、避難先から帰還するように言われている人もいます。「原発は安全だ」と主張し、原発推進を目論む国により、このようなことが行われているのです。

沖縄と福島、どちらも国策のために県民が犠牲になっています。このようなことが許されていいはずがありません。今回、集会に沖縄の学生が参加してくれました。やはり沖縄の人の、基地への怒りは強いと感じました。今こそ福島は沖縄と、そして全国と連帯し、社会を変える運動を拡大させていくべきだと思います。



5・12沖縄集会、新自由主義粉碎へ戦闘宣言！



●広島大1年生の感想

沖縄の基地や戦争に関するモニュメントを見て回ること
で、沖縄が抱える問題の異常性を実感しました。沖縄には、
戦争での悲惨な歴史があり、それが受け継がれていました。
沖縄県民は、生活の中でも平和への想いを強く感じている
と思います。しかし、今なお、沖縄に米軍基地が存在する
ことで、沖縄は戦争とは切っても切れない関係にあります。
言い換えれば、沖縄の戦争は、まだ続いているということ
です。沖縄が新しいスタートを切るためにも、まずは沖縄
から基地を失くすことが必要だと思います。沖縄の現状を
現地で見ること、そう思えるようになりました。沖縄県
民が言うように、沖縄のことを語るなら、まずは現地へ行
くべきです。今回の沖縄研修は、そういった意味で、とて
も貴重な体験となりました。

●東北大1年生の感想

今回の感想を一言にまとめるならば、まさに“百聞は
一見に如かず”という言葉におさまると思います。ニュー
スや新聞、本などを通して沖縄や労働者運動や学生運動を
多少知っていましたが、やはり実際に沖縄の戦跡を巡った
り、運動の様子を見ることで多くの経験を学ぶことができ
ました。

沖縄の戦跡めぐりとして、ひめゆり学徒隊関連の場所を
行きましたが、資料館での資料などを見るうちに心苦しく
なりました。それは、沖縄戦があまりに悲惨過ぎることを
実感したからであり、同時に多くの一般人さえも犠牲にし
なければならない戦争の現実疑問を抱いたからです。

今回初めてデモにも参加させていただきました。デモ行
進する人々の熱意やエネルギーの凄まじさを実感し、沿道
の人々が手を振って応えてくれたり、他の多くの人々も現
状に不満を持っていることも感じる事ができました。

戦跡めぐりや米軍基地見学はもちろんのこと、普通では
経験のできないデモにも参加できたことが大きな経験にな
り、いい思い出になりました。



5月14日の名護市内デモ

国鉄闘争全国運動 6・10全国集会

新自由主義と闘う労働組合をつくろう！ 国鉄分割・民営化反対、1047名解雇撤回

◆6月10日(日)13時～

◆東京・文京シビックホール (文京区春日1-16-21)

【主催】国鉄分割・民営化に反対し、1047名の解雇撤回闘争を
支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

<http://www.doro-chiba.org/z-undou/z-index.htm> nationwidemovement@yahoo.co.jp

※右写真は、1780人が結集した昨年6月5日の国鉄大集会(日比谷公会堂)

